

京都教区時報

第96号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨
編集 京都カトリック教理センター 住所 京都市左京区仁王門通新高倉東入 Tel 761-9095

神父探訪……西野猛生師・F.アラール師

わたしと平和①

いのちの継承

宮西 いづみ

地球上の四分の三の人が飢えてるって
ホントですか？

天使が目をまんまるくしてきました
天のお父さまは

あなた方の願いどおり
今日必要な糧を 今日あなた方 みんなに
与えておられるはずですよ。

だれかが 二人分 三人分とってませんか
だれかが四日分 五日分ためこんでませんか
だから 今日 当たらない人が出てくる……

青い空は青いままで子供らに伝えたい
緑の森は緑のままで 白い浜辺は白いままで。

工場の排煙が空を灰色におおい
合成洗剤のたれ流しが海を赤潮でうずめ
紙や割箸の浪費が森をはだかにしていく

息子よ
神様からあなたを手わたされたとき
母さんはいのちの重みをずっしり感じました
この美しいからだをたましいとを
うかつに そこなつてはならないと。

今年是我们们になりましたね
さあ もう母さんをのりこえて行きなさい
でも約束して！ 加害者にはならないと。
だれかの食物をうばったり
青い空を汚したりはしないと
そして 何よりも
殺しあいを 決してしないこと。

母さんが戦争に反対しつづけてきたのは
あなたの死ぬのがこわかったからでなく
あなたに 人殺しをさせたくなかったから。
あなたただでなく 世界中の子供たちに
そんな悲しいことをさせたくなかったから。
神様があなたを作られたのは、
母さんがあなたを育てて来たのは、
罪を犯させるためではなかったのだから。



みやにし
いづみさん
(津 教会)

地域で消費者運動にたずさわっていたが、戦争がおればこの活動も虚しいとの思いから10フィート運動の募金集めをする。これが認められ、'82国連の軍縮総会に三重県代表として参加。これをきっかけに教会に正義と平和委員会をつくる。具体的活動は、反核・軍縮運動として核廃棄物海洋投棄反対の署名集め、胎児生命を考える集い、合成洗剤の廃止(教会で粉石けんの輪旋)部落差別の勉強会など。教会学校教師。大学2回生を頭に3児の母親。

司祭修道者懇親会

1月4日(金)



右より金祝のウィット、マキロップ両親父

一月四日、恒例になった懇親会が約50名近い司祭と、各会を代表する修道女50名程が集まり、行われた。

ミサは今年金祝を迎えられるマキロップ、ウィット両師を囲んでの共同司式ミサで、式後、懇親会中、お二人の労をねぎらった。

両師の功績は改めて申し上げるべくもない程大きく、特に戦後の京都教区の発展の基礎は両師のメリノール管区長時代にかたまつたと言っても過言ではない。

ミサ中、司教は、特に設立予定

となつている司牧評議会に対する希望をのべ、ビジョンがより具体化していく事への期待、更に国際青年の年である今年、明日の教会を担う青少年達が、神の恵みのもとに豊かに成長していく様に期待する事を告げられた。

ミサ後、懇親会に入り、今年の司会は三重地区、Cボラス師であった。会中、マキロップ、ウィット両師の金祝を祝った。

新しい年の活躍を祈りつつ4時頃散会した。

司教の DRAGON

12月

- 1日 聖母の騎士修道女会総長ほか来訪。小さい姉妹友愛会にてミサ。
- 2日 ①司教座教会ミサ。青年代表と新春座談会。世界救世教のN師来訪(諸宗教)。
- 3日 女子パウロ会代表、ロベス師、奥村師と面談。
- 4日 平城NT合同会議。司牧評準備小委員会。
- 5日 韓国農民研修団(22)歓迎宿泊。
- 6日 宗責任役員会。
- 7日 コレアンセンター代表と面談。
- 8日 京都女子カルメル会創立25周年ミサ。WCRP関係者来訪。
- 9日 ①伏見堅信ミサ。平和学習会。
- 12日 高松司教館訪問。聖マルチン病院に母を見舞う。
- 13日 世界救世教N師と面談。反省会(平和学習・駐日大使歓迎)。
- 15日 園部聖家族幼Xマスを迎えるミサ。
- 16日 ①名張教会ミサ。
- 17日 駐日大使館訪問。
- 18日 ①21日 司教協臨時総会。
- 24日 ①ヌヴェール会管区長来訪。葉参。聖要会訪問。古屋司教訪問。市民クリスマスミサ。深夜クリスマスミサ。

よか
笑が
お
よ
に
顔



- 25日 クリスマス。在京フィリッピン若者を囲むXマスパーティー。
- 27日 京南司祭月例会。
- 29日 司牧評常任委
司牧評準備会。教理センター
理事会。
- 30日 ①松本秀師、柳本神学生と面談。
- 31日 大晦日。

— お忙しい司教様でいらつしやいますか、お休みの日は?
「休みを取れ取れと言われるけれど、うまく切り換えするのが苦手ですね。太平洋のような明るい海が好きだけれど、こちらの近くには海がなくて残念ですね。」
— 信徒の方に一言どうぞ
「私と話す時、気難しいと思われるのか、かなり緊張する人が多いですが、本当は気軽な人間ですよ。少し、はにかみ屋ですが。どこかで出会っても遠慮なしに話しかけて頂きたいと思います。」

平和の歩み学習会

在日韓国朝鮮人問題と平和 (84年12月9日)

大韓 韓国基督教会长老

金 在 述 氏



まずロマ12・11・21を読みましよう。そこに人間としての使命が書かれています。私の地上の国は、韓国 神が決めて下さった生国の国籍で生きるのが当然でしょう。

小さい頃から日本はこわいものと思っていました。一九〇五年日韓保護条約、一九一〇年8月29日の日韓合併条約の時一五〇〇万国民は、民族が取られた、祖先に対し申し訳ないと号泣したのです。その時日本は花電車を走らせ、飲めや歌えの大騒ぎ。李王殿下は6才の時日本に連れてこられました。そして韓国の歴史がゆがめられて教え始められました。朝鮮は日本帝国下におかれ、サーベルを下げた警官が私達の恐怖の的でした。「日本人が来た」と言えば泣く子どもだまる様であり、巡査が一人来れば10人は殺されると恐れられたものでした。

日本の取った圧政に、①教育させない事。その点キリスト教はありがたかった。宗旨より先に教育を施してくれたのでした。

②白米は日本人に、自分達はジャガイモ、トウモロコシ、マメカスを食べさせられた。飢えに耐えられず、草根、木の皮をあさったりもしたものです。③農家は綿の供出を迫られ、出せないと村長と巡査がやって来て、何故出さないかとたく、子供の綿入れから綿を取り出してゆるしてもらおうとした人もあります。

私にとつての救いはキリスト教でしたが、帝国主義にとつて一番邪魔になるものはキリスト教で、キリスト教の断圧がどんどん厳しくなりました。ある時エゼキエル書を引用して説教をしましたが、それで捕えられ、足げにされ拷問されました。特高は私達に三つの

質問をしましたが、その中に、「お前が信じている神と天皇とどちらが偉いか」と質問がありました。が、神様はよく導いて下さいますね。とっさに出た言葉は、「あなたは警察官だが、どうして神聖な天皇陛下と他のものを比べる事が出来るのか」と言うのでした。これに相手は、たじたじとなり返す言葉がなかったのです。

教会は字の読めない子供達に讃美歌を教え、手をたたく事を教えてくれる、それは私達に幸せな気持ちを与えてくれるのです。

平和の問題について

日本は戦争前は侵略により、戦後は、朝鮮動乱により、立ち直り、発展しました。それによって今、日本は先進国と自負しています。しかし先進国ならそれらしい態度を取るべきです。

*捺印問題は先進国の取るべき態度でない。

*日本は世界人権宣言後30年たつてやっと二年前に加入した。

*七・三一部隊は細菌研究に三千人以上の中国人を丸太扱いにしたのです。でも中国はゆるしました。いじめず助けるのが先進国の取るべき態度です。金力と武力でいじめるのはゆるされな

い。
*38度戦は日本の侵略の遺産である。
韓国、朝鮮人を咎める前に日本人自身が反省してほしい。

宗教も文化も文明も韓国を通じて与えられた事を考え直してほしい。平和の事については教会が先導しなければならぬ。
キリストなしには平和はない。信仰なしには平和はない。
神に祈る事なしに平和はないのです。神に祈って日本が真の先進国になる様祈るべきなのです。

悲しい歴史の中で最近嬉しい事もあります。在日韓国人に学ぶ、アジアに学ぶという集會が行われた事、カトリック教会でこの講座を開かれた事等です。

こんな事があります。戦争中、進岩の教会に男達を集め、放火し鉄剣で日本軍が殺した。その事を悲しみ、日本から、教団が一千万円もつてあやまりに来た。そのお金で教会をたてました。神様は教会をたてて下さるのです……。
日韓親善も言葉だけでなく行いで示したい。最後にロマ12章11・8を読んで終ります。

京都北部 司祭信徒の懇談会報告



12月2日、宮津市で、京都府北部日教会の司祭、信徒会長、常任委員、婦人、青年会役員32名が集まり、「司祭から信徒への願い」が提案され、それについて討議がなされた。

「司祭から信徒への願い」

信仰生活の根本

①キリスト者として信仰愛に生き、よろこびつつ、人々にキリストを証しするには何よりも神との一致の生活が必要である。そのために教理・聖書の学習、祈りが大切。

②家庭において親と子が信仰を伝える自覚を持つこと。

③家族で一緒に祈ること。朝・晩

秘跡と信徒

①ミサの参加において考え方をかえて積極的に参加してほしい。

②ミサに遅刻する人が多すぎる。

③ゆるしの秘跡が少し誤解、敬遠されている。

④病人がいる時、司祭に知らせ、病者の塗油の秘跡をうけられるようにする。

⑤信徒同志の結婚の為の紹介組織の必要性。

他、教会の活動・財政について等

近藤師より説明の後、具体化について討議され、小教区でさらに検討し実行していく事で集約し、和やかな懇親会のうちに終了した。

秘跡に共に祈りあすかること。

宣教する信徒

①教会の宣教の使命における信徒の使命感の自覚。

②社会でキリストの証人になる喜び、苦勞をもっと話し合い、経験を交流し、お互いに励まし合う必要がある。

③自分の家族・知人・友人を教会につれてくる事に積極性がほしい。

④キリスト教について質問されたら、自分なりに答えられるよう日頃から研究すること。

⑤要理クラスで教授できる信徒がもっと増えてほしい。

ミサに楽しくあずかろう!!

最後の晩さんのとき、主イエズスは過ぎ越しの食事に用いられていたパンをとって弟子たちに与えながら、ご自分の死と復活にあずかる形見として、聖体祭儀を制定されました。その教えに従って弟子たちは最初の時代からミサを祝ってまいりましたが、その頃は日常生活に用いている普通のパンを用いていたようです。



パン ①

は、大きなパンを分け合う事に、大きな意味を感じていたようで、ミサのことを「パンを裂く式」と呼んだようです。約千年間、教会は普通の食パンのようなパンを用いていましたが、10世紀前後から、ご聖体に対する畏敬の念が極度に強くなり、聖体はいただくよりも、目で見れば礼拝するようになり、種なしパン(イエー・ストなし)が用いられるようになって、信徒の奉納行列もなくなり、聖体拝領の数が少ないので大きなパンも必要となり、現在のようないくつかのホースチアが修道院で焼かれるようになったのです。

各地のクリスマス

12月25日午後、カトリック会館6階では、田中司教はじめ50人余りの司祭、信徒、修道者が、フィリピンの青年達とはじめての集いを持ち、クリスマスのより深い喜びを分かち合った。これは滞日アジア人のニードに对应しようとする教区の企画の第一歩である。今後は彼等との日常の交わりを通して、エンターテナー、留学、結婚など異なる目的での日本滞在に、必要な助けができるような組織作りをしてゆきたい。「お知らせ8ページ」

滞日フィリピン・フィリピンとにぎやかにクリスマス





カナダ、ケベック州出身。ウイアール・アラル。元、アール・カンパニーの社長。高野の落星中学校の校長。8年務めた。血液型O型。今年男。

F・アラル神父

会という祈りのグループをスタートさせました。

「人によって私の印象だいぶ違いますね。生徒部長の時、ニックネーム、アルカホーネ、あとニコッドファーサーになった。ある人、初め怖い：あと遠慮：ハハハ：」

「ロマンティックと言われます。美が好き、陶器、お花、美術。若い時、ピアノ、ハイフォルガンよくひきました。音楽、自然、スポーツが好き。昔、サイクリングで四国や仙台へも行きました。」

「今年はゆっくりと召命のためめの仕事をしたいです。」

隣人であるはず。その人たちに何を残そうとして

いるのか：働く人の家で基本的に考えようとしているのはそういう事ですね。

「ものにしがみついていたらありのままが見えない。だから信仰にしばられていると、神の豊かさを狭ばめてしまう事にもなりかねない。いつも、本当に自由でいたい。そして、何オになっても自分を変えていきたいと思えますね。」

神父たんぼつ

「働いている青年たちが集いの中で、生き方や各々の場でしている事を見直し、かけがえない人間の価値、本当に大切な事に気づいてほしいと思っています。」

「今の社会を見ると、差別教育の画一化・能率中心主義などで人間の尊厳が認められていない事が多い。また、環境汚染・食品公害・干ばつなどすべての問題は自分が今いかに生きるかだけを考

えて、我々の子孫にいいものを残そうという気持ちがない。今、生きていく人だけが隣人でなく、これから何百年先に生きてくる人も

西野 猛生 神父



九条教会主任。J.O.C. 担。働く人の家をも含む。ACCOの司牧長。三期。四年。年を務め終え。今年に血液型A型。

きようと〈教区〉しが〈教区〉なら〈教区〉みえ

「私たちのクリスマス」

大和郡山教会



私達の教会では二週間前から御聖堂内を全員で、色とりどりの電球やモールで美しく飾りつけ、二十四日の御降誕祭を平和と喜びの内にお祝いしました。終って幼稚園ホールで恒例のパティー。日曜学校、婦人会、壮年会、青年会、中高生会がこの日の為に練習したそれぞれの成果を披露し、楽しいクリスマス夜の夜を過ごしました。

クリスマス・ペイジェント セント ヨゼフ女子学園



静かな祈りの雰囲気の中、聖書のみ言葉と伝統的なキャロルを聞きながらキリストの降誕の歴史的な場面がタブローでくりひろげられると同時に、今の社会の苦しみや悲惨な姿のスライド上映によって現代的なクリスマス意義が示されます。毎年一般の人々約400名程も参加し、これが学園での大きな宣教活動の場となっています。

「見よ あの星を」 聖マリア養護学校



カンタータ「見よあの星を」を歌い継いで7年目、今年の祝会は12月15日本校講堂で行われました。京都中央少年少女合唱隊の広瀬先生の指揮で二部合唱ができました。このお方こそ救い主イエス、来りて拝み栄えあれや。さまざまの障害を負った子供達が精いっぱい歌う降誕の物語りは、私達をその「夜」に出会わせてくれるのです。



ヌヴェール修道会と言うよりも、聖母の学校のシスターと言ったほうが一般的だろうか。

「フランスのヌヴェールの近くで創立され、その地域の一番貧しい人たちのために奉仕したいという思いから出発し、当初は食べる物がない人に、大きなおなべを持ってスープを配ってたんです。私たちがのあだ名はおなべのシスターって言われてたんですよ。」

新しい事業を興すのではなくすでにある事業の中に入って行って貧しい人のために働く。看護婦として、老人ホームの春母として、

と協力し、6年ほど前から募金活動が続いている。毎日曜日に四糸大橋で募金を呼びかけるシスター学生たちを見かけた方もいらっしゃるだろう。毎年春と夏、今も激しい戦争が続くすぐそばで懸命に生きる人々の所、何ヶ村かを訪ねられる。「共にすごす事だけしかできないけれど、こんな危険な所まで訪ねて来てくれてありがとうと心から喜んで下さいます。」人々の暖かき、謙虚さにふれ「私も変わりました」とシスターは話された。

今も、おなべいっはいのキリストの愛を配るシスター方、これからもがんばって下さい。

下請け工場の一労働者としてなど必要とされる所へ派遣している。

また学校の教育を通し、世界の貧しい国々の人のために働く人、心を配る事ができる人が一人でも育ってほしいとの願いがある。「さっき来ていた学生も今年の春はカンボジア難民の所へ一緒に行きたいと言っていました」というのは、カンボジア難民救済会

高校生と教会

藤原 信

高校時代は、自分の力を信じている反面、自分のいたらない面が気がつく、それを誇張して考えて、打ちしずむことがしばしばある。こういう時に、日ごろあまり教会に行っていないなくても、行ってみようかなという気持ちになる。

そんな時は、教会の雰囲気がいとか悪いとかには関係なく、母親にしかかれてうなだれ、説教を聞いている子供のようになってみる。

そうすると、あの退屈なミサ中の祈りの言葉や、神父さんの説教が、いつもは右から左に素通りするのにな、ちよつと胸の中にとどまったりする。たとえば、「一人一人は小さなもの」「犠牲の精神」「隣人愛」とかがある。こんなのも「さい」とか「ださい」とか思っている人もいるだろうけれど、これから成長していくのに必要な要素だと思ふ。

高校生ともなると、親に連れられてミサに預かるというようになってはなくなってくる。

教会から離れていく理由に、教会でよく顔を合わすだれだれさんがどうもうつとういとか、教会

そのものの雰囲気、なにやらとけこみにくいという人もいるだろう。就職や受験をひかえて、競争社会の中にいるばくちたちには、神父さんやシスターの話は、現実ばなれしていると感じる時もある。

神の存在について真剣に考えている人もいるだろう。

高校時代は精神面はもちろん、あらゆる面で成長のときだと思ふ。そして世の中はしばしば人間をいろいろな角度から比べる。そしてかならず優劣をつけられる。優をつけられた人は劣をつけられた人に対して「なーんだ」というようにさげすむ気持ちをもったりする。

そんなふうにも思っているなど気づいたとき、聖書の1ペーじや2ペーじを読んでみることは大切なことだと思ふ。

こう考えると、人生の飛躍の時期である高校時代に、ちよつと考えるとそれを妨げているように見えるキリスト教は、まっすぐな人格をもって飛躍するためには大切なものだと思う。

また心のささえになつてくれるものだと思う。

(高一) 奈良教会



下さった主とこの二人に感謝をしこれに続きたいと思う。
(大和八木教会)

大和八木教会創立二十五周年を迎えた大和八木教会に、創立当初からの二人の信者さんNさんとHさん、どちらもおじいちゃんである。この二人が毎日のように教会に通い、草とり、植木の手入れ、どぶ掃除、ガラス、ふき、教会の留守番、はてはセメントをこねての仕事までそれぞれが無理のないように自分の意思で喜んで奉仕を続けて下さっている。おかげで教会や修道院の庭さきがみちがえるように美しくなった。それにもましてこの二人の行動を通じ自分にも何か出せないかと心を動かされているのは私一人ではない。年頭に当って「生きている教会」への火つけ役を与えて下さった主とこの二人に感謝をしこれに続きたいと思う。
(大和八木教会)

ありがとう！
Nさん・Hさん

堀井 千代子

息づいている教会

西山 健一



正月の2日、3日にかけて、友人と二人車で名古屋から京都を訪れました。河原町のレストランで夕食をとったあと散歩していると、河原町カトリック教会の看板が目につきました。翌朝お聖堂を訪問。近代的な教会という印象を受け、お祈りをすませたのち金閣寺へ向う途中、白い十字架が目に入りました。どこの教会かなと思いつつ車を止め、中に入ってみると衣笠教会でした。落ち着いた好感のもてる聖堂でした。友人と話し合ったのですが、二つの教会を訪問し、しっかりと息づいている教会に、今年の明るい社会を見た思いがしました。京都で二つの教会を訪問できましたことは大変しあわせでした。京都の皆様が、名古屋に來られました時は、ぜひ名古屋の教会を訪問して下さい。
(名古屋・膳棚教会)

聖書パズル 旧約編



ソ	ネ	ヘ	ミ	ヤ	ト
シ	ウ	ヨ	ナ	エ	ア
ヘ	タ	セ	ゼ	マ	セ
ン	ニ	キ	イ	ラ	ホ
フ	エ	ザ	ヨ	キ	レ
ル	ヤ	ミ	カ	ビ	ム

へもんだい
この中に、旧約聖書の書名が10巻かくれています。上下・左右・ななめから探して下さい。(同じ文字を何度使ってもよい)

例

ト	タ	ヌ
ラ	ビ	モ
シ	ン	ア

☆ 答え 10巻の名をハガキでお送り下さい。送令正解者の中から5名の方に記念品をお送りいたします。住所、名前、電話、郵便教会を書いて、2月末までに編集部へ送り下さい。解答は4月号に掲載。

教えてサロモンさん!!

四旬節

灰の水曜日「つてなご」

灰の水曜日をもって四旬節が始まります。この日、前年の枝の祝日に用いた枝をやいて作った灰を祝別し、それを額か頭にかけながら、「あなたはちりであってちりに帰っていくのです」と唱えます。灰をかぶることは、身ぶりで表わす一種の公けの罪の告白なのです。つまり、この灰を用いることによって、人間は自分の罪を自覚し、(創18 27)弱くはかないもの

であることを認めると共に(創27)神の裁きを避けて憐れみを得ようとする。このように自分が無であることを告白するものに、罪と死に勝利を治め(イザヤ61・2 3)メシアの約束が告げられるのです。
初代教会では、聖水曜日まで教会に入る事のゆるされない公けの罪人だけに、灰をつける式を行っていました。十一世紀頃からこの慣習がなくなり、信者全員が受ける事になり、人間のみじめさを反省させる灰の式には、教皇はじめ全員が裸足であずかったのです。

お知らせ

教区スケジュール

2月

2月3日(日) 日本26聖人ミサ(於小寺ビル・四条綾小路)

2月4日(月) 司祭評臨時会議

2月8日(土) 第50回信徒使徒職

2月9日(日) 三重海星高校図書館祝

別式

2月11日(月) ノートルダム修道女会

誓願ミサ

2月18日(日) 京都南部司祭月例会

2月20日(水) 灰の水曜日

2月23日(土) 森一弘司教叙階予定

(補佐司教)

2月24日(日) 司祭黙想会

2月27日(日) アペマリア幼稚園室祝

別式(山科)

3月

3月1日(金) 世界婦人祈祷日

第一回 宣教司牧評議会

1月19日(土)~20日(日)にかけて、司祭・修道者・信徒が集まり、京都カトリック会館にて設立総会が行われました。詳細は次号にて。

26聖人の跡を慕い歩きましょう。

2月11日(祝) 淀(10時) — 高槻

主催関西フランシスコファミリー 26聖殉教者は私達と縁遠い人でなく、しかも17名は信徒(内6名は京都出身)でした。平和を祈りながら歩きましょう。詳細は伏見教会へ 075(641)0610 までお問い合わせ下さい。

ご協力、お願いノ(4ページ関連)

滞日アジア人援助活動の今後について1月21日、話し合いが持たれました。関心のある方、協力して下さる方は書面にて御連絡下さい。御意見、情報もお寄せ下さい。〒606京都市左京区高野清水町38-16 ノートルダム教育修道女会 地区長館 Sr 鎌田 宛

いかにせう信徒のクリスマを!!

信徒使徒職養成コース

各地で大好評!! いまや日本の「信徒使徒職養成コース」あなたも参加してみましよう。

一九八五年度予定表

◇第50回 基礎コース

日時 2月8日(金)~11日(日)

場所 三重県カトリック研宗館

◇第51回 基礎コース

日時 3月20日(水)~23日(土)

場所 奈良、善きサマリア人修道会

◇第52回 基礎コース

日時 4月26日(金)~29日(日)

場所 高松教区

◇第53回 基礎コース

日時 5月3日(金)~6日(日)

場所 名古屋教区センター

◇第54回 祈りのコース

日時 5月17日(金)~19日(日)

場所 桐生・フランシスコ会黙想の家

◇第55回 病人司牧コース

日時 8月2日(金)~4日(日)

場所 苫小牧メリノールセンター

◇第56・57回 コース未定

日時 8月

場所 旭川カトリックセンター

◇第58回 基礎コース

日時 9月13日(金)~16日(日)

場所 桐生・フランシスコ会黙想の家

◇第59回 みことばと典礼コース I

日時 9月21日(土)~23日(日)

場所 三重県カトリック研宗館

◇第60回 特別基礎コース(一週間)

日時 10月7日(月)~13日(日)

場所 名古屋カテキスタ学院

主催 京都カトリックセンター



◆ねずみがうしにバトンタッチして言ったとき、やっぱり私はこそそしすぎました、その点あんなは落着いていてよらしいな。猫をかんだわけでもないけれどずいぶんいやな事もありました。うしが答えて言うのには、余り落ち着きすぎて取り残されてはいけなけれど大地に足を踏まえてしっかりやっていきましょう。(MT)

投稿のお願い

▽御意見、疑問、信仰体験の分かちあい：▽子供の作文等▽三百字以内、たて書き。趣旨を変えない程度に直す場合があります▽小教区お知らせはハガキでどうぞ▽掲載をもって採否の連絡にかえます。▽採用分には記念品進呈▽住所、氏名、年令、職業、心、所属教会を明記の上、〒606京都市左京区仁王門通り新高倉東入ル 京都カトリック教理センター「教区時報編集部」宛お送り下さい。